(らしを支える) 政治の実現

沖縄を起点に考え、動く。

くらしを支える政治で、もっと良い未来へ。

日頃よりのご支援と叱咤激励に感謝申し上げす。 2023年度が始まりました。コロナ禍以降も支援が必要な 県民人の予算を確保し、ひとり親支援関連の予算は、 厳し、予算編成の中でも36億円規模を維持しました。

学校教員の人手不足問題 1の対応、地域的の道路・公園整備の相談では ひき続き、県民と議会、県政をつなく"治動を続けてまいります。

今年度もご指導・ご類撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

沖縄県議会議員 喜灰名 智子



住民・県民の声を、県政につないで、一緒に実現できたこと!

ヘイトスピーチ規制の 最終本会議で賛成討論!

「沖縄県差別のない社会作り条例」が成立



(2023.3.31. 2月定例会本会議場)

ヘイトスピーチは、「人種、民族、性別、出自など本人が変えられない特性を理由にした差別や憎悪を広げる行為」です。人権分野の専門家から、「これまで沖縄県には総合的な人権行政がなかった」との指摘もあった中で、今回の条例は人権行政の出発点としての意義があります。

沖縄でヘイトスピーチを監視し、記録していた個人やグループから始まった条例づくり。この成立はスタートラインです。今後、条例解釈指針や審議会を中心に運用の充実、差別の実態調査実施などを積み重ねるのが、今の沖縄県ができる現実的な選択だと考えます。



条例成立まで何度も市民団体、 県民から要請やレクをうけました。



賛成討論は、 動画アーカイブでも ご覧いただけます。 (43分30秒から)

日本・中国の問題を外交で解決するよう 求める意見書を可決しました!

県議会2月定例会では、与党・中立会派の賛成多数で「沖縄を 再び戦場にしないよう日本政府に対し対話と外交による平和 構築の積極的な取組を求める意見書」を可決しました。

この意見書は、きゆな智子が2022年1月に紹介議員をお引き 受けした請願がきっかけです。「日本国政府に対し日中共同声 明等の日中両国が取り交わした文書の諸原則の遵守及び両国 間の問題解決を要請する意見書の可決を求める請願」を提出 したのは、那覇市出身で、東京で日本と中国の貿易促進に携わ るお仕事をしている方でした。

県議会では請願・陳情をすぐに採択・可決することは容易で はありません。1年以上、総務企画委員会でこの議論が続けら れました。。

しかし、「政府による安保三文書の閣議決定」「県内へのミサイル配備強行」を目の前にし、危機感を持つ県民の声が、県議会を動かしました。粘り強く各派調整を続けた会派同僚の議

員、委員会での議論を引っ張った議員、 ご賛同いただいた議員、お力を結集し た各位に感謝申し上げます。

この意見書が、防衛強化よりも、外交 努力を後押しする力になるよう、引き 続き活動します。



意見書全文はこちら



外務省にて、吉川ゆうみ政務官へ要請と質疑。

「ひとり親支援策」、医療費助成の拡充を

沖縄県母子寡婦会からの要望 で、「18-19歳の子どもがいるひと り親世帯への医療費助成延長」に 取り組んでいます。

ひとり親が最も大変なのは、世帯収入を確保し、仕事・家事・育児をやりくりする時間です。「子どもが18歳になり、進学でお金がかかる時期に医療費助成が途切れて、急に家計負担が重くなる」「自



分が病気になれば子どもがヤングケアラーにならないか」との不安の声。市町村との実態調査を行い、必要な予算を県で助成延長できるよう、継続して質疑・提案しています。

コラル

ご存じでしたか? 「母子・寡婦父子福祉法」での "子ども"の定義は「20歳未満」です

平成30年に民法が改正され(明治9年以来の変更!)、昨年2022年4月から、成人年齢が20歳→18歳に引き下げられました。

これに伴って、児童福祉法や公職選挙法などは「子ども =18歳以上」と変更されましたが、ひとり親支援の根拠と なる「母子・寡婦父子福祉法」では『この法律において「児 童」とは、20歳に満たない者をいう(第6条3項)』と維持さ れています。これは国も、ひとり親・世帯への支援の必要 性を認めているからです。沖縄から、この法律を活用した 医療費助成の延長を実現していきたい。

本席か

本会議場では再質問は登壇ず、議場席から行います。

一般質問でも「一問一答方式」を選ぶ と、最初からこの席での質疑です。



地域・県民と県政をつなぐ

高校で快適な学習環境を



学習時間中にクーラーを稼働させてほしい、との高校生か らの要請を教育長へつなぎました

「出前講座」で高校生と意見交換



県議会の活動を広く知っていただくため、希望する高校に 「出前講座」を行いました。県議になった理由、県議会で取り組 む政策、グループでの意見交換。議会・議員が少しでも身近な 存在と見てもらえますように。

那覇港管理組合議会議員としても活動開始



昨年11月より県議欠員補充の形で「那覇港管理組合議会」議員 に推挙いただきました。港湾行政を扱うのは初めてです。物流、 港の街づくり、リゾート開発、軍港移設と大きな課題を抱える組 合には、出向職員だけではなく、長期構想を支えるプロパー職員 が必要性だと質疑で取り上げています。

「組合議会」って何?

2つ以上の地方自治体が、清掃や消防など、共同で事務 処理を行う特別地方公共団体として各種「組合」が設置さ れています。「那覇港管理組合議会」は沖縄県・那覇市・浦 添市が設置し、独自の議会は計10名の議員で構成されて います(県議5,那覇市議3,浦添市議2)。

なお、きゆな智子は「沖縄県離島医療組合議会」でも活 動しており、公立久米島病院の運営チェックにも携わっ ています。この議会は県議3・久米島町議3の計6名で構成 されます。

県道7号線歩道の排水パイプ設置で、 自治会の要望が実現!

奥武山公園駅近く、後原共同住宅前の県道7号線の歩道を 通ったことはありますか?雨が降ると排水からコケも流れ出 て、歩く人も自転車も、すべりやすく危ない状態が続いていま した。

字小禄自治会が「道路壁面から排水パイプを取り付けたい」 と、南部土木事務所とやりとりを続けていましたが、なかなか うまく進んでいませんでした。そこで、県・道路管理課とも話 をし、お手伝いさせていただきました。

2023年3月末までに、県予算で写真のように排水パイプ設置 が完了しています。 他にも地元歩道の不具合などがありま したら、一緒に改善していきましょう!



さらに一歩前へ! 文教厚生委員会でも進捗確認



20歳未満の子どもがいるひとり親世帯への医療費助成拡充 について、本会議の一般質問に続き、委員会でも質疑をしたと ころ、県が「市町村へ意向調査をした」「必要と回答した市町村 が5つ」と答弁がありました。一歩前進です。

世帯数は児童扶養手当により把握可能です。引き続き、県に よる助成延長に向け、質疑・提案・働きかけを続けます。

きゅーちゃんこときゆな智子の昨年の活動を、写真と共に振り返ります。



インクルージョンアート展の 開会式に出席(那覇空港国際線)

金城中学校の吹奏楽部のパフォーマンスが すばらしかったです。(2023年2月11日)



国際女性デー

連合沖縄と共に街頭 活動。(2023年3月8日)



繁多川公民館・もちつき大会 (2023年1月14日)

《連絡先》 〒900-002

那覇市泉崎1-2-3

沖縄県議会立憲おきなわ

E-mail / qkiyuna@gmail.com

TEL / 098-866-2432





ティラノサウルスレース

高校生が主催したチャリティー イベント「ティラノサウルス レース」に参加。その前に県議 会棟で着ぐるみで動く練習! (2023年3月3日)

辺野古ゲート前

県民大行動にて挨拶 (2023年3月24日)

旧海軍壕跡・未発掘区域での ご遺骨収集活動を見学

(2023年2月25日)



沖縄県議会議員 きゆな ともこ / 喜友名 智子

- 略歴: 1976年 那覇市生まれ
- 垣花小、鏡原中(14期)、開邦高(7期)、慶應大。
- 松下政経塾、コミュニティFM運営、まちづくりNPO活動、 IT関連会社を経て、2020年沖縄県議会議員初当選。
- 文教厚生委、子どもの未来応援特別委、那覇港管理組合議会、 沖縄県離島医療組合議会(久米島病院)

http://kiyuna-tomoko.com/

Twitter @KiyunaTomoko

